

独立行政法人の役員の公募の結果

平成23年9月16日

独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構の役員(平成23年10月1日付発令予定)のうち、理事長及び監事(常勤及び非常勤)については、7月8日より公募による選考を実施しておりましたが、その結果について、別紙のとおりお知らせします。

なお、理事長の任命については、本日の閣議において了解されていません。

連絡先
大臣官房秘書課
宅島、原
TEL 5253-5075 5253-5074

選考結果総括表

府省庁名 総務省

役職	現任者				任命予定者			選考経過
	氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)郵便貯金・ 簡易生命保険 管理機構 理事長	平井 正夫	63	H19.10.1	総務省総務審議官 [OB] (財)日本データ通信 協会理事長	浦野 道郎	60	大和プロパティ(株)常 勤監査役 兼 大和I R(株)監査役	応募総数 11名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任
(独)郵便貯金・ 簡易生命保険 管理機構 監事	渡邊 恭介	67	H19.10.1	(株)高岳製作所監査 役(非)	関 考人	59	住信・パナソニックフ ィナンシャルサービス (株)常勤監査役	応募総数 27名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任
(独)郵便貯金・ 簡易生命保険 管理機構 監事(非常 勤)	関根 義雄	63	H19.10.1	日本郵政公社監事 [OB]	小池 敏雄	51	小池公認会計士事務 所代表・公認会計士 兼 (独)農業者年金 基金監事(非)	応募総数 16名 ↓ 書類選考 ↓(5名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

郵便貯金・簡易生命保険管理機構役員名簿新旧対照表

	現 任 者						任命予定者			任命権者	発令予定日	
	役 職	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢			前 歴
公募	理事長	平井 正夫	63	H19.10.1	4	H23.9.30	総務省総務審議官 (財)日本データ通信協 会理事長	浦野 道郎	60	大和プロパティ(株)常勤監 査役 兼 大和IR(株)監査役	総務大臣	H23.10.1
	理事	武内 信博 【役員出向】	56	H22.7.27	2	H23.9.30 (残任)	総務省関東総合通信局長				理事長	
公募	監事	渡邊 恭介	67	H19.10.1	2	H23.9.30	(株)高岳製作所監査役 (非)	関 考人	59	住信・パナソニックフィナン シャルサービス(株)常勤監 査役	総務大臣	H23.10.1
公募	監事 (非常勤)	関根 義雄	63	H19.10.1	2	H23.9.30	日本郵政公社監事	小池 敏雄	51	小池公認会計士事務所代 表・公認会計士 兼 (独)農業者年金基金 監事(非)	総務大臣	H23.10.1

(独) 郵便貯金・簡易生命保険管理機構理事長選任理由

本法人の使命は、郵政民営化に伴い日本郵政公社から承継された郵便貯金及び簡易生命保険の契約を適切かつ確実に管理するとともに、これらに係る債務を確実に履行することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、本法人の基本的な運営方針を立案し、総務大臣の定める中期目標及びその達成のための中期計画に基づき、法人全体の運営管理業務を総理することが求められる。

本件公募に対しては、11人の応募があり、選考委員会による書類選考で5人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た2人を、他の候補者の情報とともに、任命権者である総務大臣に提示し、これに基づき、任命権者が浦野道郎氏を選任したところである。

任命理由は、金融に関する知識を十分に有するとともに、民間企業の経営等の実績及び経験を持ち、本法人の役職員の先頭に立ちうる強いリーダーシップを有するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、これまでに培った組織の管理経験、交渉力などを活かし、本法人の適切かつ確実な運営に貢献したいという強い意欲を持っており、総務大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

(独) 郵便貯金・簡易生命保険管理機構監事（常勤）選任理由

本法人の使命は、郵政民営化に伴い日本郵政公社から承継された郵便貯金及び簡易生命保険の契約を適切かつ確実に管理するとともに、これらに係る債務を確実に履行することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、独立行政法人通則法等の関係法令に基づき、法人の業務全般の監査を行い、その結果を踏まえ、必要があると認められるときは、理事長又は総務大臣に意見を提出することが求められる。

本件公募に対しては、27人の応募があり、選考委員会による書類選考で5人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た2人を、他の候補者の情報とともに、任命権者である総務大臣に提示し、これに基づき、任命権者が関考人氏を選任したところである。

任命理由は、長年にわたり金融機関の業務に従事し、金融の知識を広く有するとともに、監査役としての実績を持つなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、これまでに培った監査に関する知識・知見などを活かし、内部統制態勢の整備を図り、本法人の業務の適切かつ確実な運営に貢献したいという強い意欲を持っており、総務大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

(独) 郵便貯金・簡易生命保険管理機構監事（非常勤）選任理由

本法人の使命は、郵政民営化に伴い日本郵政公社から承継された郵便貯金及び簡易生命保険の契約を適切かつ確実に管理するとともに、これらに係る債務を確実に履行することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、独立行政法人通則法等の関係法令に基づき、法人の業務全般の監査を行い、その結果を踏まえ、必要があると認められるときは、理事長又は総務大臣に意見を提出することが求められる。

本件公募に対しては、16人の応募があり、選考委員会による書類選考で5人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た2人を、他の候補者の情報とともに、任命権者である総務大臣に提示し、これに基づき、任命権者が小池敏雄氏を選任したところである。

任命理由は、長年にわたり公認会計士としての業務を行う一方、他の独立行政法人の監事の経験を有しているなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、独立行政法人の運営に深い理解を有し、これまでに培った監査に必要な知識・知見などを活かし、業務の効率化と透明性の向上を図り、本法人の業務の適切かつ確実な運営に貢献したいという強い意欲を持っており、総務大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【総務省】

- ・独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

【理事長選考委員会】

・大学教授	3名
・会社役員	1名
・公認会計士	1名
計	5名

【監事選考委員会】

・大学教授等	3名
・会社役員	2名
計	5名